

帝国日本の英字新聞から読める言語政策：昭南の例

リチャード・パウエル

I 序論

1942年2月から1949年に至るまで英植民地であったシンガポールはその後マラヤ半島と共に日本軍事占領地となった。当時ドイツ侵略に脅かされたイギリスにとっては、シンガポールの喪失は大きな精神的打撃だったが、「昭南人」になったシンガポール住民の視点からすると、それは120年間の英国統治の終了を意味した。単なる大君主交代だけではなく、大英帝国なりのレッセフェール主義及び民族別行政制度¹⁾は日本軍政による同化政策²⁾に置き換えられた。英語中心の他言語教育と行政制度は直ちに日本語に変更される計画もあったが³⁾、日本軍政に対して東南アジアの軍事占領は前例のない行政問題を提起した。台湾(1895)、韓国(1910)、そして満洲国(1931)の場合、儒教、仏教や漢字等で育てられた均質性の高い民族における日本列島に近い植民地化だったが⁴⁾、シンガポールの場合、人口の大多数が華僑だったものの⁵⁾、民族・言語・宗教が異なっていた。東南アジアの占領地は日本本国に併合されるというよりも、大東亜共栄圏に統合され、資源や軍事補給基地として利用する計画があったが⁶⁾、経済や物流管理的な問題に加えて、日本語や日本の文化が未知の環境で、日本語を通じて新しい日本人を作るか、日本語を大東亜共栄圏の共通語として広めるか⁷⁾、言語政策に関する議論では、実用主義は理想主義と衝突した。さらに、100年間以上行政言語であった英語の役割を定める必要もあった。シンガポール戦略直後、英語使用廃止計画が発表されたにも拘らず、終戦にかけてプロパガンダのツールとして使われ、教育制度でも、日本語、マレー語とタミル語と共に英語の使用がある程度継続した。つまり、日本語と日本文化の振興及び英米文化と英語の制限は英語でも行われたのである。

本研究は当時の英字新聞から読める日本語・日本文化の促進政策及び英語の制限政策を取り上げる。

1) Furnivall, 1948.

2) 台湾及び韓国とは違い満洲国等は併合領ではなかったが、1937年まで他言語教育や施政が施行されたが、1937年以降は日本語を通じて日本精神を浸透させる方針が強められた(安田, 1997: 207-227)。

3) Wilson, 1973: 14.

4) 小熊(1995: 395)によれば太平洋戦争勃発以前にも、日本帝国は他民族帝国として想定され、民族主義的国粋主義は主に終戦後に現れた思想だったが、坂野(2005)は台湾の原住民の「皇民化」との統治・学問議論したなか、「漢化」対「日本化」という「文明化」方法が議論され(239)、多文化主義と大東亜共栄圏構築は特に1930年代の占領地では矛盾していたことを主張する(279)。

5) Kratoska, 1998: 18.

6) 同書: 3-4.

7) 安田, 1997: 285.

1845年に創立された *The Straits Times* 新聞社はシンガポール陥落当日には閉鎖されたが、その5日後から1945年まで *The Shonan Times* は英語で出版された。軍政統制の下での検閲は厳しく、戦争時代の政治・軍事・社会記録としての正確性はもちろん疑わしいが、軍政宣伝道具として、大切な資料である。戦終直前、シンガポールとマラヤの多くの行政文書は日本軍政に破棄され、戦後マラヤで実施された戦争犯罪取り調べ終了後、多くの裁判関係資料も英軍に処分された。したがって、シンガポールとマラヤの日本進駐期間から現存している資料は希少である⁸⁾、こうしたなか、当時のシンガポール人読み手と同じように行間を読んだところ⁹⁾、3年以上ほぼ毎日出版された軍政の新聞には、帝国日本による言語・教育・文化の導入、英語の制限、そして英語やマレー語保持政策の重要な歴史的記録が記されている。

II 研究概要と方法

この新聞調査は軍事占領時代におけるシンガポールの言語政策を探る書類に基づいたパイロット・スタディとして実施されたが、調査結果は今後計画する面接を含む中期研究で使われる。殆どの研究資料は1941年から1945年までに出版された英字新聞の *The Shonan Times* (後ほど *The Syonan Times* それから *The Syonan Shimbun* と改名) であるが、言語史の文脈を描写するために、当時マラヤ半島で出版された英語・日本語・マラヤ語の新聞及び、戦後の *The Straits Times* 紙、そして日本帝国の文化・言語・教育政策に関する参考文献もある程度利用した。シンガポール政府が補助する *The Straits Times* 新聞会社のデジタル化プロジェクトのおかげで、*The Straits Times* をはじめ、シンガポールとマラヤ地域で出版された多くの新聞は部分的にオンラインでも読めるようになったが、現在まで *The Shonan Times* は殆どデジタル化されていないので、シンガポール国立図書館では紙面及びマイクロフィッシュで読むことになった。1944～1945年はまだ十分な裏付けとなる資料がないが、終戦が近づくとつれて、新聞のページ数はだんだん少なくなり、占領期間前半の資料から、言語政策変化の流れが見える。

資料の解釈をするには、言語政策・計画と応用言語学分野で使われる代表的分析概念の5つを使用する：(1) *status planning* (言語地位計画)；(2) *corpus planning* (言語コーパス計画)；(3) *acquisition planning* (言語・言語変種学習の計画)；(4) *prestige planning* (言語威信計画)；そして(5) *discourse planning* (言語政策関係談話の計画)。

Status planning

言語政策分野初期の頃、言語地位関係の方針（主にどんな言語をどういうドメインで使うか）は言語

⁸⁾ Kratoska, 1998: 6-7.

⁹⁾ *Straits Times* (1949.11.06) It was five years ago yesterday, p. 3; Chan Kwee Sing (1979.9.05) The lastdays of Japanese occupation in Singapore, *Straits Times*: p.10.

コーパス関係の方針（語彙や文法の改訂）から区別された¹⁰⁾。ある言語に対する方針（*action sur la langue*）というより、様々な言語及びそれらの関係に対する方針（*action sur les langues*）¹¹⁾、または言語機能の割り当て¹²⁾及び言語変種の使用と機能に影響する¹³⁾方針とも定義される。言語地位計画の主要な施策は法律（憲法、法令、規制）を含み、軍政状況の場合は布告も使用される。ステータス計画は必ずしも行動の変化につながらないことは言うまでもないが、方針の実施、例えばコーパス改訂や学習政策は普段は言語ステータスの下で行われる。

Corpus planning

コーパス計画に当たる名辞が20世紀まで使われなかったにせよ、制動的な語彙改訂或は文法標準化計画には数百年間の歴史がある¹⁴⁾。言語内部の書法（orthography）や語彙等の変種形態がよく言及される¹⁵⁾が、本研究では文書（文学・教育・行政書類等）作成の役割も論じる。例を挙げると、軍政占領期間、シンガポール人が読める教科書が不足して、日本語の教育が非常に制限された一方、新聞等での英語使用が続き、日本語、文化関係の外来語及び日本帝国イデオロギーの要素を含む英語の変種が現れた。

Acquisition planning

何らかの言語計画は言語使用の変化を目指し、導入された言語、又は既に使用されている言語における変種の学習促進は、言語政策研究では中心の位置を占めている。クーパーをはじめ¹⁶⁾、多くの研究者によって、言語地位及びコーパスの計画活動があっても、言語拡散や言語使用変化が起こるとは限らない。したがって、言語拡散と使用変化を目指す学習計画は独立分野と見なされている。主な研究としては公的組織に於けるポストコロニアル国語の教育或はマイノリティー言語の維持について行う。

Prestige planning

言語政研究の主流ではないが、地位及びコーパスをターゲットとする方針の受容性は言語計画のサブフィールドとして取り上げられている。ハーマン¹⁷⁾によれば、文化や文学宣伝を通じて言語の威信を計画することは、地位・コーパス計画に対しては独立的活動であり、マクロ・レベルだけではなく、言語を話し・書く人々には個人的な影響も与え、重要なミクロの含蓄も伴う。デイスコース／談話計画（下記）とは判別し難いが、本研究では日本軍政は新聞の記事、学園祭、スピーチコンテスト等を通しながら

10) 特に Kloss, 1969.

11) Calvet, 1987: 282.

12) Cooper, 1989: 31-32.

13) 三好重仁, 小池, 2003: 353 にて

14) 例えば 16 世紀イタリアの *Accademia della Crusca* (Nencioni, 1986) ; 17 世紀ドイツ語に対する *Sprachpflege* (Leibnitz, 1683/1916: 19).

15) 三好, 小池, 2003: 356 にて .

16) 1989: 33.

17) 1990: 105.

ら日本の文化を宣伝し、日本語を威信のある言語としてどのように普及させたかという点にも注目する。

Discourse planning

言語の地位及び、威信の確立、コーパスの作成、言語教育に関する研究に比べ、言語政策談話の計画に注目する研究の歴史は短い。ネウストウプニ¹⁸⁾は言語計画がある言語現象をデイスコース上の問題としての概念化から開始し、その問題はデイスコース上での解決が現れてはじめて完了となるとする。ロ・ビアンコ¹⁹⁾にとっては、言語政策方針の影響は他の社会政策よりも深いので、言語計画当局はその計画の受容を強めるために、デイスコースの規制に力を入れた。影響力のあるデイスコースは憲法、法律、司法判決及び公開発表にも及ぶが、軍政の階層社会では、新聞社説や記事の覇権は極めて強いと考えられる。社会言語学では、言語政策の社会的影響、そして言語による社会政策の解釈は特に批判的談話分析(CDA/critical discourse analysis)²⁰⁾の分野ではよく研究され、機能文法(SFG)の分析方法を採用して、文章の意味を周辺社会での経済・政治権力バランスを参考しながら説明しようとするが、言語政策研究との共同調査は少ない。本研究でもCDAの研究方法は直接使用していないが、新聞で読める発言は(特に軍政社会では)、言語や教育的問題の改善ではなく、言語を利用して政治・軍事的な問題を解決する政策として解釈される。

Ⅲ 昭南島言語政策の背景：日本語と皇民化

外圧をきっかけに言語標準化を含む国粋主義が生じるのは一般的だが、明治維新の日本では言語の統一化及び標準化は欧米による植民地化を防ぐために経済・文明・言語近代化を伴った²¹⁾。維新後30年経過後も植民地化を避けられた日本は、国語を教えることで、明治政権の影響を海外でも広げるとの思想が出現し²²⁾、国語学者上田万年の「国語を海外へ輸出すべき論」は特に日清戦争と日露戦争以降に広まり²³⁾、1920年代は日本語が東洋諸国の共通語、又は世界の国際語の一つに考えられてきた²⁴⁾。

国内では、公用語と軍隊共通語を確立するため、漢字の廃止、又は日本語の廃止と英語の置換にまで、様々な政策が提案され、伝統主義と簡易化主義間の摩擦が続いた。その論争は特に国外で激しかった。台湾と韓国の日本語教育では、口語が優先され、発音的仮名が使われたが²⁵⁾、日本語は「国語」に設立

18) 1994: 50.

19) 2009: 103.

20) 例えば Fairclough, 1989, 2003.

21) 安田, 1997: 5.

22) 同書: 57.

23) 同書: 57.

24) 同書: 70.

25) 同書: 60-61.

され、単なるコミュニケーション道具ではなく、日本の文化²⁶⁾、思想²⁷⁾及び精神²⁸⁾を伝える媒介として尊ばれた。

我が国は言霊の国とも云はるゝ位に、国語は特殊の発展をして、国民に特殊の思想を構成せしめて居るのである。此の思想は所謂神ながらの思想である。神道の思想である。我が国の文化は実に此の思想を根柢として、今日の発展を遂げたのである。（上田万年）²⁹⁾

サピアー・ウオーフの仮説の前兆の一つと考えられるフォン・フンボルトの言語構造と精神発達論³⁰⁾以来、

*Das vergleichende Sprachstudium, die genaue Ergründung der Mannigfaltigkeit, in welcher zahllose Völker dieselbe in sie, als Menschen, gelegte Aufgabe der Sprachbildung lösen, verliert alles höhere Interesse, wenn sie sich nicht an den Punkt anschliesst, in welchem die Sprache mit der Gestaltung der nationellen Geisteskraft zusammenhängt.*³¹⁾

言葉、思想と国家との緊密連想は少なくとも日本帝国創立の70年前から議論され、総合イデオロギーがあまりなかった大英帝国でも³²⁾ 英文学を通じて英国人の価値観が伝えられるとの思想もあったが³³⁾、英・蘭帝国等のエリート向け教育に比べ³⁴⁾、帝国日本は広範の言語教育を目指したため³⁵⁾、言語教育の分野では理想主義と実用主義の衝突は避けられなかった。日本語は神道の思想であるゆえに、言語簡易化は国威を低くするという意見もあったが³⁶⁾、そのスタンスは日本語教育の進歩を妨げたとも言える。日本語を通用させようとした地域と帝国日本との関わりは様々だったが、明治維新の日本列島をはじめ、台湾と韓国でも、それから1930年代の満州でも、1940年代の東南アジア占領地でも、言語政策は現実主義と理想主義との弁駁の下で進化した。例えば1937年までの満州では日本語が国語というよりも東洋共通語として設置され、中国語等での教育も支えられ、他言語政策の模範が現実化した。軍事情勢が悪化して、日本語は積極的に使われるようになった³⁷⁾。

26) 同書：44.

27) 同書：45.

28) 同書：295.

29) 同書：45.

30) von Humboldt, 1836.

31) 同書：xvi 「言語の比較研究、つまり無数の人々が数多くの方法によって同じ言語教育問題を解決する探査は、言語が国の精神力の建設に関連している点に達しないかぎり、知的興味を失う。

32) Powell, 2002.

33) Joshi (1998) は英文学がイギリス国内ではなく、19世紀インドの学校で生まれたと論じる。

34) Kartini (1903/2005: 121) によれば400年間以上オランダ語であったダジャワ島では、オランダ語が話せた現地住民は数百人のみ。

35) 安田, 1997: 187-193.

36) 同書：288.

37) 同書：207.

東南亜占領の場合、大東亜共栄圏の共存共栄主義とイギリスの帝国主義と対比するために、日本語が共通語になっても、(英語を除いて)現地語と共に使用される政策が計画されたが、他言語主義の非実用性³⁸⁾や経済停滞³⁹⁾が次第に感じられ、共存共栄主義及び他言語主義と日本中心主義及び日本語普及主義の間の摩擦が激しくなった。理想主義と実用主義とのギャップがあまりにも大きくて、その隙間に英語使用があったと本研究では議論する。

IV 帝国時代の新聞、プロパガンダ戦略と言語

両大戦の間、新聞、ラジオ、教育や文化組織の戦略的使用が拡大した。イギリス国際文化交流機関のブリテイッシュ・カウンセルは欧州で広がるファシスト主義に対応して、1930年代に設立された⁴⁰⁾。当時東洋では、日本政府が英語の新聞を抑えるというよりも、自らの英字新聞を確立して帝国日本の世界における威信を宣伝する作戦を企てていた⁴¹⁾。シンガポールでは、1939年まで日本の新聞が日本語で3紙、中国語で1紙、英語で1紙が出版された⁴²⁾。その上、マレーヤにあった日本人の協会は重要な情報源になり⁴³⁾、古賀聖人が監督した「マライの虎」を信じれば、戦前は大規模の反英諜報ネットワークが存在していたといえる⁴⁴⁾。ほんの一部だったかもしれないが、日本人店主や商人はスパイとして雇われたことが明らかである⁴⁵⁾。諜報機関活動の成果か学問の結果か、戦争期間中日本の英字新聞では日本人の英米に関する知識が遥かに英米人の日本関係の知識を超えることが頻繁に見受けられる：

It was only the mistaken complacency of American leaders which brought on the war. If American leaders had been as well-informed about Japan as Japanese leaders were about America the blunder would not have happened.⁴⁶⁾

東南アジア侵略後、日本の情報ネットワークは現地新聞を閉鎖したり、接收したり、親英メディアの殆どを急速に黙らせた。100年間の歴史があった *The Straits Times* は立ち所に閉鎖されたが、親日のマレー半島の *Penang Shinbun* (英語とマレー語) や *Malai Nippo* (英語と中国語) は日本の経営によっ

38) 同書：287.

39) Kratoska (1998: 1-5) はマレーヤの資源供給と日本軍の需要とのミスマッチに基づいた失業問題は侵略直後の大量逮捕と大虐殺、そしてその後の行政汚職に悪化され、シンガポール住民にとっては大東亜共栄圏の魅力が見て取り難いと論じる：“They promise a prosperous future free of corruption but oversee an impoverished and corrupt regime”.

40) Powell, 2002: 236.

41) O'Connor, 2010: 279.

42) Kratoska, 1998: 27.

43) 同書：17.

44) 1943年(大映)に上映、マレー人の独立を助けた日本生まれ、マレーヤ育て谷豊の伝説.

45) Kratoska (1998: 29).

46) 外交官の来栖 三郎, *New York Times*, 1942.5.27: ‘Tokyo insists peace was Kurus’s goal’ .



上：クアラルンプールの Malai Sinpo
 右：マニラの The Tribune
 出典：シンガポール国立図書館

て継続され、*The Malay Mail* は *Malai Shinpo* と改名された。昭南新聞会は 1942.2.20 に *The Shonan Times* を創立し *Straits Times* の印刷所で出版をはじめ⁴⁷⁾、翌日からタイトルの綴りは *The Syonan Times* に変わり⁴⁸⁾、1942.12.08 から *The Syonan Shimbun* になった。戦争中、シンガポールの唯一の英語新聞だったが、日本語の昭南新聞やマレー語の *Berita Singapura* 等も発行された⁴⁹⁾。1943年11月東京で開催された大東亜会議の10日後、東洋で全面的なプロパガンダネットワークを強めるために大東亜共栄圏新聞会が開催され、終戦まで日本は新聞を通じて自分の東亜任務を主張および正当化する努力をした⁵⁰⁾。

英語や現地語の新聞が日本軍寄りの経営になった場合、英米帝国代表語の英語はアジア解放代表語の日本語に置き換えられる計画があったが⁵¹⁾、その影響力は限定的であった。日本国内の場合、戦争が近づくと



出典：シンガポール国立図書館

47) 戦後の *Straits Times* 編集長 L.C. Hoffman によれば、新しい新聞との協力を拒否した *Straits Times* のスタッフも居た。
 48) 戦後まで、いくつかのローマ字制度が新聞の中で使われた。
 49) VLS de Silva (1971.12.19) Pekerja *Straits Times* yg paling tua akan bersara [Oldest *Straits Times* employee to retire]. *Berita Harian*, p.16.
 50) O'Connor, 2010: 280-286.
 51) 同書：279.

1902年に創立された *Japan Chronicle Weekly* は日本語用語のそのままの使用が増えて、日本語普及拡大政策に伴い、湾岸攻撃の一周年記念日から *The Japan Times* は *The Nippon Times* と改名されたが、英語は廃止されなかった。

Following the establishment of media control over English language and local vernacular media, the plan was to replace English, the language of Western imperialism, with Japanese, the language of pan-Asian liberation. In this, however, *Dōmei* and its sister organizations met with mixed success (...) To rename Japan 'Nippon' and Japanese things and ideas 'Nipponese' was also to acknowledge the power, if not specifically of English, the language of the foremost enemy, then of Roman letters, the alphabet of Western thought.⁵²⁾

住民の殆どが日本語を理解しない占領地では、英米の影響の消し止めを狙ったが、英語廃止は不可能だったというよりも、むしろ敵の言語を帝国日本の思想を伝える道具としての可能性が認められた。

V 言語地位計画

戦前、マラヤとシンガポールでは公用語が正式に設置されなかったが、大多数マレー系の UMS⁵³⁾ 5州府（ペルリス、ケダ、ケランタン、トレンガヌ、ジョホール）の行政は英語とマレー語で、FMS⁵⁴⁾ 連邦州（ペラク、セランゴール、ネグリ・センビラン、パハン）及び中国系過半数の海峡植民地（ペナン、マラッカ、シンガポール）の行政は英語で実施された。上海は部分的に1937年から、そして完全に1941年から日本軍に制御されたが、日本語が市政公用語になったのは1943年からだった。シンガポールの侵略直後、渡辺渡副軍政部長が日本語を唯一の公用語として設置し、英語の廃止を計画した⁵⁵⁾。ただし、市長に任命された大達茂雄はその政策は市民の離間策を起こすことを恐れ、軍政幹部での権力が不十分だった渡辺が自分の意見を通すことはできなかった⁵⁶⁾。教育制度の場合、日本語を中心として、英語と中国語を制限する計画が続いたらしい。

侵略期間中シンガポールの86万人の約7割は中国系であり⁵⁷⁾、小学校まで中国語（官話）で教育を受けた人々も居たが、英語の小学校で勉強した人も多くて、マレー系とタミル系の子供達と同じように、中学以上の教育の殆どは英語のみだった⁵⁸⁾。マレー語、中国語、タミル語の法廷通訳が付いたが、司法

52) 同書：279.

53) Unfederated Malay States.

54) Federated Malay States.

55) Wilson, 1973: 17.

56) Akashi, 2008b: 49.

57) Kratoska, 1998: 18-19.

58) Pennycook, 1994: 95.

制度も英語で実施されたようだ⁵⁹⁾。クラトスカはマレー人における日本軍政への許容、中国系人の敵意との一般化は単純な固定観念として批判するが⁶⁰⁾、1930年代から中国侵略に講義してデモを開催したり日本輸入品をボイコットしたり⁶¹⁾、マラヤ共産党とマラヤ人民抗日軍支持で疑われたり⁶²⁾、中華系のマラヤ市民は日本軍政に非常に強い不信感を抱いた。侵略直後新シンガポールで行った粛清大虐殺によって亡くなった犠牲者の人数はまだ議論されているが⁶³⁾、財産没収等と同様、その多数は圧倒的に中国系だったことが明らかである⁶⁴⁾。こうしたなか、英語だけではなく、中国語の使用も制限する計画があった。1942年4月にはマレー語とタミル語の公立学校が再開した。

Ed. Dept Notice
Reopening of Malay Schools

Syonan Times (ST) 1942.4.10: 3

戦前、多くの中国語学校は私立であったが、渡辺軍政部長が中国系人からの請願書に応じて⁶⁵⁾ 公立中国語学校の部分再開を認めた。日本語は義務科目としたが、

Syonan Chinese Schools Re-open
Fifteen Chinese Common public schools were opened in Syonan on Wednesday. Over 1800 students found admission to the schools...
The boys will be taught under the new educational system in which Nippon-go will be a compulsory subject.

ST, 1942.7.5: 4⁶⁶⁾

授業言語として採用されず、中国語は補助科目として許可された⁶⁷⁾。

英語学校の再開はおろか、最初は授業での英語使用も禁じられたが、大達市長は渡辺副軍政部長に教育政策における硬直性の欠点の是正を説得し⁶⁸⁾、教育用語はマレー語、日本語、そして必要な場合にタミル語にしても、教育の補助用語として英語と中国語も認めさせた⁶⁹⁾。それにしても、1943年初めまでに、マレー語の入学は侵略前の90%、タミル語の入学は77%までに回復したが、中国語の入学はわずかに戦前の11%だった⁷⁰⁾。1942年末には「適切な」私立学校の再開は発表されたが、

59) *The Straits Times* (1896.6.20)によれば、イギリス人のマレー語通訳者がシンガポールの法廷で勤めた。

60) Kratoska, 1998: 1.

61) 同書：16.

62) Akashi, 2008a: 7.

63) 赤石 (1970: 68) は戦犯裁判被告人が認めた5000人と同裁判証人達が主張した数万人の数字を対比する。

64) 同書：75.

65) 同書：84.

66) 新聞記事の部分は枠に入れ、本物の綴りとレイアウトはできるだけ守ったが、強調のため、所々太字を付け加えた。

67) 同書：84.

68) Wilson, 1973: 17.

69) 安田, 1997: 352.

70) Akashi, 1970: 85.

Proper Private Schools Will Be Permitted
MUST SATISFY AUTHORITIES

... Meanwhile it was stated that there are 78 Futtu Kogakko or Common Public Schools in Syonan with a total enrolment of 13,500 pupils.

Syonan Shimbun (SS), 1942.12.30: 2

中国語の授業は日本語と同じように週に 14 時間であった。1944 年から私立学校はまた閉校された上、公立学校でも中国語は日本語教育の用語としての使用しか認められなかった⁷¹⁾。英語の地位を弱めるため、大達市長は 1942 年 12 月に Raffles College 等の英語学校を卒業した教員の給料割増を廃止しようとしたが、マレー・タミル語の学校を卒業した教員よりも資格があるとの理由で教育組織が異議を唱えた。新しい日本語中心教育制度に関しては英語の利点が疑わしいにも拘らず、その給料割増制度は終戦まで継続された⁷²⁾。一方、日本語の資格を取得した教員には昇進⁷³⁾、昭南市の従業員には昇給が提供された。

Nippon-Go Bonus Scheme For Employees Of Tokubutu-si

With a view to make the employees of the Syonan Municipality take to the study of Nippon-go more enthusiastically...the Mayor of Syonan has been pleased to announce to employees of the Tokubetu-si that a special language allowance will be given to those employees who acquit themselves in examinations conducted at interim periods during the year...

ST, 1942.9.24: 4

46 Pass Written Language Test

Of the 420 employees of the Syonan Tokubetu-si who sat for the language allowance examination (written) at the Bras Basah Boys School on Sunday, only 46 passed, of which number five obtained full marks.

ST, 1942.12.23: 2

日本語が堪能な公務員には給与引き上げや昇進が用意され、民間企業就職でも日本語運用能力は利点になる場合もあった。

SITUATIONS VACANT

WANTED Young Lady Office Secretary for a Chinese Concern. Any Nationality. Must be able to converse in Nippon Go and English fluently.

SS, 1943.2.5: 2

多言語・多宗東南アジアでは、日本語を唯一の共通語として成立させるのは無理だったらしく⁷⁴⁾、シンガポールとマラヤにおいては、英語やマレー語の行政使用が続いたらしい。クラトスカによれば、日

71) 同書 : 84.

72) Wilson, 1973: 26.

73) Kratoska, 1998: 128.

74) 安田, 1997: 287.

本語で書かれた行政資料は殆ど残されていない⁷⁵⁾。占領後半，内容が英語で書かれても，行政書類の題名ぐらいはマレー語となったが，UMSでは中身もマレー語が多かったのに，FMSでは，特に占領後半の場合，英語使用が多くて，願書等を提出する市民は専門翻訳家・代書を雇う習慣が続いた⁷⁶⁾。

現在マレーシアの行政・司法制度では，そもそも英語で作成された書類は書き直せずとも，マレー語の公式地位を示すため，法律名，政府部門の名称，役名等はマレー語にすることが多い⁷⁷⁾。 *Syonan Times* 及び *Syonan Shinbun* の英語文章では同じようなフレーミングが使われた，つまり翻訳が付いても，主な役職や行政措置等のタイトルはローマ字化日本語にされた。例えば日毎に行政発表や指令を発出した局：

Gunsei-bu Opens Syonan Police Training Centre
...The former site of the Malayan Police Depot is being used.

ST, 1942.5.29: 4

Registration at Romu-Han Advantageous to all Workers

The following is an explanation of the reasons underlying the registration of Eurasian and Jewish, as well as all other workers (male and female) at the Romu-Han. At present there are very few companies, firms and factories in Malaya which afford employment to local citizens. The Romu-Han (Labour) Department has been organized for the supply of labourers and workers of all descriptions...

ST, 1942.8.1: 4

GUNSEIKANBU NOTICE

All holders of liquor licences which will expire on 31st December, 2602, must renew their licences at the Sambaika, Zaimubu, Gunseikan-bu before their expiration.

SS, 1942.12.12: 2

TOMI SEIREI No. 19

(Military Administration Ordinance No. 19).

ART. VIII

The Gunseikan and the Government may appoint officers to examine the books and documents connected with the business of the moneylenders.

SS, 1943.1.15: 2

警察庁，行政や日々の生活に欠かせない書類等から，

TOKUBETU-SI NOTICE

4. When the discovered ammunition is dangerous or of great weight involving difficulty in transport, a verbal report may be made to the nearest Keisatu-cho (Police Station).

SS, 1942.12.12: 2

⁷⁵⁾ Kratoska, 1998: 8.

⁷⁶⁾ 同書：9.

⁷⁷⁾ Powell, 2008b: 138.

Notice

Ankyosyo

The public is hereby informed that all persons who paid for their **Ankyosyo** (Residential Card) and then removed to another house...

ST, 1942.5.25: 3

日本で行う行事まで、

Our Premier, General Hideki Tozoy, addressing the extraordinary two-day session of **Teikoku Gikai**...

ST, 1942.5.28: 1

英語使用をしながらも日本の権力及び政治・文化環境をアピールしようとする意図が見える。

侵略一年前、「南方作戦ニ於ケル占領地統治要綱案」では、速やかな治安復元のため既存の組織の保持が計画されたが⁷⁸⁾、占領地創立わずか4週後、「all non-British」の弁護士は最高裁判所に召喚され (*ST*, 1942.3.03)、五月の末、裁判所は新しい名称で再開された (*ST*, 1942.5.26) :

Gunseibutyo

NOTIFICATION

Re-opening of the Courts in Syonan

The former Criminal District, Police and Coroner's Courts in Syonan (henceforth to be known as the **Syonan Keizi Tihoin** which means Criminal District Court) will be opened on May 27, 2602. Mr M.V.Pilai has been appointed Criminal District Judge and First Magistrate, and Messrs. K.M.Byrne and L.C.Goh as Magistrates. The duties of the Coroner will be performed by the Magistrates.

On the same day, the Syonan Public Prosecutor's Office (henceforth to be called **Syonan Kensatsukyoku**) and the Syonan Local Prison (henceforth to be called **Syonan Keimusyo**) will also be opened. Mr. A.J. Braga has been appointed Deputy Public Prosecutor.

The Syonan Supreme Court (henceforth to be called **Syonan Kotohoin**) and the Syonan Civil District Court (henceforth to be called **Syonan Minzi Tihohoin**) will be opened on May 29, 2602. Raja Musa bin Raja Haji Bot has been appointed a judge of the Syonan Kotohoin and Mr K.F. Tan, the Civil District Judge.

The above Departments will henceforth use new seals. Advocates and Solicitors who formerly practised in Syonan will be allowed to resume their practice on payment of the former admission fee of \$500.

ST, 1942.5.26: 9

開会式を日本人の裁判官が主宰したり、裁判所には日の丸が掲揚されたり⁷⁹⁾、第25軍の山下中将や大達市長が裁判に参加したり、

⁷⁸⁾ Akashi, 2008a: 3.

⁷⁹⁾ *ST*, 1942.5.28: 4.

...our Commander-in-Chief Lieut-Gen Tomoyuki Yamasita, came on the bench together with Mr Sigeo Odate (Mayor of Syonan), Mr Wataru Watanabe (Gunseibu-tyo) ...

ST, 1942.6.3: 4

軍政命令の下で実施したとしか思えない司法制度だったが、帝国日本と日本語のフレームに囲まれても、新聞上の証拠によれば司法において通常の使用言語は英語だった：

SYONAN MINZI TIHOHOIN
(Civil District Court)
Writ of Distress No. 738 of 2602

ST, 1942.5.26: 9

1943年6月から、公務上手紙（「official correspondence」）の言葉は近い将来に日本語のみになる計画が発表され、この政策は日本語をマラヤの共通語にする手段として正当化され、

Letters in Nippon-Go Only From June Next
A further step towards establishing the **Nippon language as the lingua franca** of Malai has been taken by the postal authorities - from June this year, all official correspondence will be restricted to that language, says Domei. Mr Seiji Hamada, Postal Administrator for Malai and Sumatra, in an interview said that the people should make every effort to master the Nippon language as soon as possible since **in the near future it would be necessary to make Nippon-go the only language permissible in postal correspondence.**

SS, 1943.1.5: 1

英語と中国語の地位を下げようとする意図が読める。ただし、ジャウィ文字が禁じられたものの、ローマ字で書かれたマレー語での普通手紙が認められていたので、

Southern Region's Postal Services Fully Restored
...It was disclosed that only letters written in **Japanese language** (Katakana and Romanised) and **Romanised Indonesian and Malai** will be accepted.

SS, 1942.12.17: 2

言語位地計画というよりも、検閲と治安の視点から設置された政策だったと考えられる。

上記に言及した新聞発表や記事から、日本語使用の基礎を築くには英語の部分的制限と共に、英語を通じて日本語の公式優位を設立する政策が見える。このような地位計画に加え、シンガポールの市民が昭南人になるため、日本語の単語や概念を次第に導入する計画もあった。

VI コーパス計画

コーパス計画はある言語の書法、語彙や文法の改訂、そしてその修正を含む言語で書かれた資料（文学・教育・行政書類等）の作成と配布を包含する。昭南占領創立後、日本語の教科書及び英和やマレー語・タミル語—日本語辞典の使用可能性が発表され、

Vocabularies To Be Given Free
Books entitled “Nippon Language Made Easy” will be published for free distribution in the south Pacific areas.

ST, 1942.2.26: 4

By The Way
The Nippon-Filipino Society In Manila has already initiated the publication of what will be the first Spanish-Nippon-go dictionary. Here in Syonan, where English has hitherto been the chief medium of vocal discourse, a number of English-Nippon-go dictionaries have also made their appearance, and it is also gratifying to note that Malay-Nippon-go and Tamil-Nippon-go vocabularies have also made an appearance here.

ST, 1942.5.30

図書館には日本語の書物と雑誌を供給する計画があったようだが、

Former Raffles Library To Be Re-opened In Old St. Andrew's School Hall
(...) Professor Hideo Tanakadate, Assistant Director of Syonan Museum and Library (...) assured that efforts will be made to equip the present library with Nippon periodicals and magazines, including Nippon literature, in the future.

ST, 1942.9.15: 4

漢和辞典が不要との主張、又、カタカナ入力タイプライターの生産を個人の実験者に任せるといような発言には、日本語普及についての計画性の欠如が感じられる。

There is, as far as can be gathered, no Chinese-Nippon-go dictionary for the reason, it is understood, that such a dictionary is really not necessary, the written characters of the two languages being so closely related.

ST, 1942.5.30

Katakana Typewriters Being Made
SYONAN MAN'S EXPERIMENT

SS, 1943.2.10: 1

日本語教育用資料は主に学習計画（下記）と一緒に取り上げるが、ここでは、日本語の語彙と昭南島の新聞英語への影響に目を向ける。

日常生活を描写する新聞記事によれば、看板と地名をはじめ、昭南の環境が日本語化された。占領地

創立直後、様々な改名が発表し説明された。

Pulau⁸⁰⁾ Shonan

In the fortress of Singapore (**Shonan**) and the Peninsula of Malaya, all arms and military objectives are under the control of the **Nippon** troops.

ST, 1942.2.20: 1

The Meaning of Syonan

We think it appropriate to explain the meaning of **Syonan**. Some of you already know that this era in Nippon history is called **Syowa**. The meaning of **Syo** is “Bright” or brilliant or brilliance, and **Nan** means “south”. Therefore **Syonan** means “brilliant south”, commemorating the Nippon people or the **Yamato** race.

ST, 1942.2.21: 2

ロビンソンデパートは松坂屋になり⁸¹⁾, The Mental Hospital は都病院になり, 明治神宮程の大きさが計画された昭南神社が建てたりして⁸²⁾, 「Syonanite」人たちを囲む都市景観の変化は言語公共使用に反映された。

Miyako Byoin Growing Own Vegetables

ST, 1942.8.30: 4

On the streets, traffic signboards with the former “Stop, Look, Go” as well as bus stops have since been replaced by new ones painted in **Katakana** and **Honji**.

SS, 1943.1.26: 1

Nippon Traffic Control Methods Prove Big Success In Syonan

NIPPON METHODS of traffic control, which have been introduced in Syonan, are proving a great success. Among them is the “**Tomaru**” or “Stop” sign written in large red letters on either end of the traffic cop’s wings and specially-made boards which are placed at the foot of the policeman’s platform when he is on duty.

ST, 1943.3: 2

南方占領地では全面的に言語景観が変えられようとしていた。

Change of Names in Sourabaya

With the restoration of peace and order, the names of all streets, bridges, stations and rivers in **Sourabaya** will be changed from **Dutch** to **Nippon**. The name of Sourabaya will also be changed. Prizes will be awarded for the best names suggested.

ST, 1942.4.18: 4

80) マレー語で「島」

81) Chan Kwee Sung (1976.9.05) The last days of Japanese occupation in Singapore. *The Straits Times*, p.10.

82) Magiar Simen (1974.3.17) *Syonan Jinja tempat Jepun mengabdikan sumpah masih boleh jadi pusat menarik pelancong 2* [日本の神聖地昭南神社まだ訪問者に人気] *Berita Harian*, p. 1.

Nippon Names Replace English In Kuala Lumpur

Kuala Lumpur, Jan 20 – People with no knowledge of Nippon-go, in trying to find their bearings in town, are daily made to realise that they are behind the times, and that they may find themselves contravening regulations as a result of their ignorance.

On the streets, traffic signboards with the former “Stop, Look, Go” as well as bus stops have since been replaced by new ones painted in Katakana and Honji.

Business men were among the earliest in the town to employ Katakana names for their shops. As a result, the new sign-boards and chucks represent a formidable array of competition in Nippon-Go advertising.

The words “shoten” and “shokai” have ousted their former equivalents of ‘Company’ in English in the case of Indian shops, while “Keitei” now takes the place of “Brothers” wherever Nippon language is employed. Some washermen now advertise themselves as “sentaku” while “eating shops” are losing their vulgarity by assuming the more dignified names of “shokudo” and “ryorikan”.

ST, 1943.2.10: 2

Manila Eliminates Anglo-American Influence

...The movement was begun by Mayor Leon G. Guinto, whose office has already made suggestions for eliminating names which do not fit into the present era of national reconstruction.

ST, 1943.3.26: 2

英・米・蘭のアイデンティティを取り除くため、駅名も日本国内の名前に変えられ、

Nippon-Go Names For Java Rail Stations

Because of congested traffic, 50 native policemen who have been given training by the administration have been in service [in Sourabaya] since May 20. These native policemen are directing traffic in fluent Nippon-Go. Meanwhile all railway stations here have been rechristened with Nippon-Go names such as Tokyo, Ueno, Ryogoku, Omori and Kamada and are always crowded by incoming and outgoing passengers.

ST, 1942.5.28: 4

地名だけではなく、改名政策は乗り物や商品名まで拡張された：

The Syonan Siden [trolley bus service running on Tokyo time]

ST, 1942.4.13: 3

TOKUBETU-SI NOTICE No. 158

RE: PUBLIC JINRIKI SHAS, PRIVATE JINRIKISHAS, TRICYCLES, SANRINSHAS, PONY CARTS, HAND CARTS AND CATTLE CARTS.

SS, 1943.1.20: 2

Djawa Cigarettes Given Nippon Names

Popular demand for the complete elimination of all traces of the former Dutch East Indies Administration has resulted in the decision by the Nippon Military Administration to give new Nippon names to a number of brands of cigarettes, hitherto sold under occidental names...They are Koa (New Asia), Mizuho (literary name for Nippon), and Sekido (Equator).

ST, 1943.1.13: 2

ただし、原則として、欧米帝国以前から使われた地名を保持する政策があった：

Place Names In South To Be Revised

The Cabinet at its regular meeting on Monday, decided to organise a commission headed by the Chief Cabinet Secretary, Mr. Naoki Hoshino, for revision of place names and other proper nouns at present in use in the occupied Southern Regions, states a Domei report from Tokyo.

The decision to form the Commission was made because some of the principle places in the Southern Region were named after the Kings or Commanders of the invaders and aggressors, as for instance, the name "Philippines", was given to the island group after Philip II of Spain (...). However, it is understood that such names as Medan, meaning "port", and Corregidor meaning "Mayor", which are native names, will be retained.

ST, 1942.6.13: Saturday Supplement

それに応じて、ペナン島の改名が見合わせられた：

From Tojo-to to Syonan

ST, 1942.3.3: 4

Penang is still known as Penang

ST, 1943.3.13: 3

戦前によく使用されたマレー語や中国語の外来語も昭南の英字新聞に現れた：

Gone are the days when obese "Tuan besars"⁸³⁾ lay back in comfortable chairs and shouted "stengah"⁸⁴⁾ to poorly paid Asian servants.

ST, 1942.2.23p

'Profiteers Deserve No Sympathy', Says Judge.
"THE VILLAGE people came duly to buy these articles in *tahils*⁸⁵⁾ because they cannot afford to make bigger purchases and when you charge them four or five times the proper price you deserve no sympathy whatsoever," declared District Judge Mr. M.V. Pillai yesterday...

SS, 1943.1.8: 2

Answering the District Judge (Mr. M.V. Pillai), Tang said he was not the owner of the shop. He was instructed by his *towkay*⁸⁶⁾ to sell the bread at ten cents.

ST, 1942.6.5: 4

結論として、日本語教育に加えて、日本の言語になじみ、日本文化への意識を高める為、場所、組織、看板や商品等の名前を日本語にする総合的な計画があり、占領前のマレー語と中国語吸収と同じように、占領期間の英語には様々な日本語の単語も導入された。戦前までの言語混成と違い、占領下の日本語導入は不自然で強制的だったと考えられるが、新聞紙上での存在だけではなく、終戦数十年語に渡って、日常生活に入り込んだ単語や施設名は占領を経験したシンガポール人の記憶に残った：

83) マレー語で「殿様」、ここで金持ちの白人を参照する

84) マレー語で「半分」、つまりビールのーフポイント

85) マレー語の重量単位、中国の「兩」に当たる

86) 福建語で「頭家」= 社長

...and hence to the **Chureito**, a shrine to the war dead at the peak of Bukit Batok (...) There were three such detachments of locally enlisted personnel – the **Heiho**, the **Giyugun** and the **Giyutai**... One such explosion made a shambles of the **Kyoei** (Capital) Theatre...⁸⁷⁾

VII 言語学習計画

東南アジア侵攻の際（1942年2月）、東京で開催された大亜建設審議会では経済、農業、工業や人口政策と共に文教も議論され、言語の方針が計画された⁸⁸⁾。日本語教育は八紘一宇との思想に於ける不可欠な要素と見られ⁸⁹⁾、英帝国での現地語中心の教育とエリート向け英語学習政策⁹⁰⁾に比べたら、重要な行政方策だったといえる：

the dissemination of Japanese was pursued with the utmost zeal, and the early months of the occupation saw numerous courses commenced, to the accompaniment of a vigorous press campaign⁹¹⁾

ここでは昭南学習計画については、新聞が取り上げた三点に注目する：学校での日本語教育；学外の日本語教育；そして日本語以外の言語教育。

速やかに再開されたマレー語とタミル語の学校でも、後ほど再開された中国語と英語の学校でも、日本語が必修科目に定められた。1942年7月まで文典の配送がなく、占領期間中は教科書が不足して⁹²⁾、日本語のみで作成された多くの教科書を子供達は読めなかった⁹³⁾。こうした中、手作りの教材と共に、新聞とラジオは重要な役割を果たした。*Syonan Times* はまず日本語教育宣伝の道具として使われ、日本教室や教科書の広告をほぼ毎日掲載した上、日本語学習の必要性を主張した。

1942.6月には新聞が昭南放送のラジ日本語授業の計画を発表したが、

Nippon-Go Radio Courses For Schools

ST, 1942.6.8: 4

学校へのラジオ配布を発表した際、ラジオ聴聞の厳しい制限⁹⁴⁾も読者に警告した。

87) Chan Kwee Sing (1979.9.05) The last days of Japanese occupation in Singapore, *Straits Times*: p.10.

88) 安田, 1997: 343.

89) Akashi, 2008b: 48.

90) Powell, 2002.

91) Wilson, 1973: 17.

92) Ramcharan, 2002: 72-100.

93) 安田, 1997: 352.

94) 英米のニュースを裁ち切るため特に短波の放送が禁じられたが, Hoffman (上記: 1) によれば BBC やインドの番



「日本語を学べ、使え！」中国語、マレー語とヒンデイ語のポスター。
出典：Malaysia Design Archive.

<http://www.malysiadesignarchive.org/poster-belajarlal-pakailah-sikho-istemal-karo-bahasa-nippon/>

Listening-In On Radio Strictly Limited To Medium Wave Stations

... [Mr. T. Takarada, Chief of the Syonan Broadcasting Station] added that the Broadcasting Station had already lent out radio sets to many schools to assist the pupils to learn Nippon-go and Nippon-go songs.

ST, 1942.8.6: 3

昭南や他の占領地で日本語学習進歩を楽観的に報告する記事が頻繁に掲示されたが、

Schools In Syonan Making Good Progress Under New Direction

...There are opportunities in all the primary schools for children to start learning Nippon-go straight away.

ST, 1942.7.1: 1

INDONESIAN CHILDREN QUICK IN LEARNING NIPPON-GO

Indonesian children in Batavia speak standard Nippon-go as correctly as Tokyo boys and girls, the Niti Niti's Batavia correspondent disclosed...when he visited the Chihaya Nippon-go School

ST, 1942.6.13: *Sunday Supplement*

東南アジアの占領前から日本語を簡易化したら日本の精神を弱めるという議論にも拘らず⁹⁵⁾、教材・教

組をこっそり聞く人々が多かった。

⁹⁵⁾ 安田, 1997: 286.

員不足⁹⁶⁾に直面していた多くの学校は片仮名や簡単な歌の学習に限られ⁹⁷⁾, 仮名を止めてローマ字に逃げた場合もあり⁹⁸⁾, 英語の再導入もある程度認められた:

English has been discarded as a subject from all Syonan schools but it is occasionally used as a medium of instruction, only when Malay or Chinese fail to match requirements.

ST, 1942.7.1: 1

日本語の授業は高等教育や専門学校にも導入された.

Scholarships In Medicine. Negri Move
SEREMBAN, Jan26 -The Negri Sembilan Government intends to grant scholarships to students to the Syonan Medical College, which opens in April. The scholarships will be for three courses - medicine, dentistry and pharmacy. It is understood that selections for scholarships will be tested in Nippon-go and Malai languages, Mathematics, Physics, Chemistry and Biology.

SS, 1943.2.2: 2

Field of Education

IN the field of education, as early as April last year, schools began to re-open and so far nearly 80 public schools have opened. More institutions of learning as well as a College of Medicine will open shortly. Besides, several schools have been newly established for vocational training, while the establishment of an agricultural institute is under consideration. These public and special schools have been contributing greatly towards the spread of the Nippon language among the population. **And with the realization that knowledge of the language has become indispensable, the people are learning Malai's new lingua franca with avidity.**

SS, 1943.2.15: 4

昭南医科大学は 1943.4.27 に開いた際, 学生が日本の教材が読めるようになるために日本語の集中コースを設置した⁹⁹⁾. 日本語の社会的普及には教師の重要な役割が認識され,

Nipponizing' Malayans

Mission Of All Good Teachers

That the students selected for training in the Nippon-Go Student Teachers Institute should first and foremost cultivate the true Nippon spirit was stressed by Mr. S. Banno, Director of Education, Perak, in the course of an interview with Domei.

ST, 1942.9.22: 4

Teachers Urged To Learn Japanese

True spirit of Japan to your students. You can only accomplish this mission satisfactorily by learning the Japanese language thoroughly, declared Col. S. Fujiyama, Principal of the Military Administration National Language School, when he addressed over 50 local teachers at the school yesterday.

SS, 1942.12.16: 2

96) Wilson (1973: 15) は英語教師としての再在籍を恐れ, 学校に戻らなかった中国人教員を言及する.

97) Ahmad Mustapha, 2007: 112.

98) Kratoska, 1998: 9.

99) Wilson, 1973: 24.

300 Syonan Teachers Sit For Nippon-Go Examination

SS, 1943.3.25: 2

夜間と週末の日本語授業が義務つけられたが、大人数の教室で実施され、出席しなかった教員は珍しくなかったらしい¹⁰⁰⁾。教員と共に公務員向けのコースが提供され、

Japanese Language Classes For Postal Employees

SS, 1942.12.11: 1

昇給になる日本語の試験も開催された：

Chinese Top Municipality's Language Test

The first three places in language allowance exam for senior members of Syonan Tokubetu-si staff were secured by Chinese.

SS, 1942.12.11: 2

日本語教育は新任警察や民兵隊の訓練にも組み込まれた：

Malacca Graduates Of Syonan Koa Kunrengo Return Home

Fresh from their three-months intensive course at the Syonan Koa Kunrengo, five Malacca youths arrived back in Malacca on Sunday, having successfully completed their training in Syonan.

ST, 1942.8.20: 4

Dyaks Enrol In Borneo Police

...Thirty young tribesmen will receive appointments as policemen from the Nippon authorities after five months of arduous training at the training institute here in the Nippon language

SS, 1943.1.12: 2

一般市民の場合、様々なコースは新聞に広告された上、

Learn Nippon-Go By Post

...new course specially arranged for Malayan people (...) Tuition by post.

SS, 1942.12.17: 2

教材の無料提供を伴い学習の記事や補巻も定期に出版された。

¹⁰⁰⁾ 同書：17.

Learn Nippon-Go!

Is that man rich?

Ano otoko wa kanemoti desu ka?

Anoh ohtohkoh wah kahnehmochee dehs kah?

ST, 1942.5.29: 2

FREE COPY OF SAKURA

1st edition of *Nippon-Go Katakana Sinbun* (newspaper) free with today's *Syonan Sinbun*

ST, 1942.6.9: 6

その中、漫画やクロスワードパズルが載せられた。

KATAKANA CROSSWORD

ST, 1942.9.27: *Sunday Supplement*



PAH LONG ケンセツオヤジ *ST*, 1942.6.13: 2

新聞以外には、ラジオ放送、作文やスピーチコンテストも学習道具になり、

MANABE TUKAE NIPPON-GO

Syonan Broadcasting Station Programmes.

ST, 1942.6.3: 1

Administration To Hold Novel Contest In Syonan

THE MILITARY Administration Department has decided to hold a novel competition for the youth of Syonan on the occasion of the rebirth of Malaya, February 15.

The competition will consist of lectures to be delivered in the Nippon language, a prize being awarded for the best lecture.

SS, 1943.1.9: 2

「日本語の週」というイベントも開催された：

ゲキジョウダヨリ

Nippon-Go Week in Syonan

A Nippon-Go Popularising Week will be held from June 1-7. In connection with this Syonan Gekizyo, dramas, songs and dances will be presented by students of the Nippon-Go Gakko during the week.

SS, 1942.5.30: 3

上記説明した日本語推進環境の中、他の言語の使用もたまに言及されていた。英・蘭帝国時代よりもマレー語は軍令の言葉¹⁰¹⁾及び行政とプロパガンダのツールになり¹⁰²⁾、マラヤ半島及びマレー諸島用のラジオネットワークも打ち始められ¹⁰³⁾、昭南野英字新聞では日本語を支えながらも地域の共通語として宣伝された：

Malai, Sumatra Dialects To Be Standardised.

COMMON LINGUA TO BOTH AREAS

"This, he stressed, would be a means for the propagation of Malai literature among all classes and would help to bring the local inhabitants more closely [sic] , besides helping to bring the study of the Japanese language, which could be printed serially into every Malai home.

SS, 1942.12.12: 1

日本語が使えなくても、英語よりもマレー語の使用が要求された¹⁰⁴⁾。しかし、戦前のシンガポールの行政や上級教育ではマレー語の使用が限られ、軍政は英語の継続を認める他になかったといえる。占領開始1年後、他の言語と共にニュースは英語でも放送され、

101) Kua, 2011: 28.

102) Kratoska, 1998: 124.

103) Gunn, 1997: 102.

104) Kathigasu, 1954/2006: 34.

ON THE AIR

7.35 p.m. Chinese Variety Programme "Songs of Four Seasons."
8 p.m. News in Cantonese.
8.15 p.m. News in Hokkien.
8.30 p.m. "Glimpses of Nippon." **Nippon Language Lesson.**
8.50 p.m. Bengali melodies (recorded).
9.20 p.m. News in Tamil.
9.35 p.m. News in Hindustani.
9.50 p.m. News in Nippon Language.
10 p.m. **News in English.**

SS, 1943.2.5: 2

東洋のエッセイコンテストでも許可された:

East Asia Essay Sponsors Make Rules For Contestants

(2) Language used: **English or the Nippon language preferred.** Other languages may also be used, but they must be accompanied by a translation in the Nippon language or English for convenience in judging.

SS, 1943.1.15: 2

VIII 言語の威信計画

植民地化初期の頃から、日本語学習と日本人精神の理解が密接に関連づけられ¹⁰⁵⁾、教育を通じて西洋風の個人主義を「亜細亜化」にする計画があった一方¹⁰⁶⁾、日本の文化を宣伝しながら日本語の美しさと価値を認識してもらう計画があった。クラトスカによれば、1942 年後半には日本語普及 / 英語制限の政策を和らげたその分、文化の宣伝に力を注いだ¹⁰⁷⁾。

昭南の新聞では、「武士道」、「八紘一宇」、「大和魂」等様々な概念は英語で説明され、

Bushido Spirit Revealed In June Seabattle

"Thanks very much for saving all my men. For the first time in my life I have been taught the meaning of your **Bushido**. As long as I live I shall never forget the gratitude I owe you.
[Commander of The Exeter]"

ST, 1942.4.2: 2

Nippon is fighting for the rebirth of Freedom in Greater Asia - a Freedom based on **Hakko Ichiu**, a harmonious world under one having its proper place.

ST, 1942.4.18: *Saturday Supplement*

105) 安田, 1997: 308.

106) 同書: 247.

107) 同書: 358.

“YAMATO DAMASHII”

MIGHTINESS OF THE SPIRIT OF THE WARRIORS OF NIPPON

The term ‘yamato damashi’ somewhat evades the definition. The first means Nippon and the second is simple phonetic inflection of ‘tamashi’ meaning spirit.

ST, 1942.8.2: 3

日本の習慣と祭りに関する情報も定期的に揭示された：

Children’s Corner

Hinamaturi –The Festival of Dolls.

ST, 1942.3.3: 4

Students To Go Through War’s Hardships

20,000,000 WILL OBSERVE ‘KAN’

TOKYO, Jan13 – To experience the rigours of warfare 20,000,000 students will be systematically organized in observance of the “Kan” (coldest) period of the year, which begins this year on January 21 and lasts until February 3... The students this year will experience “Kan” without their overcoats. They will also undergo outdoor exercises stripped to the waist. This practice of undergoing spiritual and physical training during the coldest time of the year is one of the main factors for building up the Nippon “bushi” (warrior)...

SS, 1943.1.15: 2

占領期間中、英語の説明（「Malayan Seinen Renmei (Malayan Youth League), ST, 1942.6.11: 4」, 「Tentyo-Setu (the birthday of His Imperial Majesty the Emperor of Nippon) ST, 1942.4.23: 3」) が続いたが、2年目に入り、説明なしの言及が増えたいらしい：

...Kigensetsu had been solemnly observed four days previously in an open clearing between the tents amid the battlements of ancient India, with homage to the Imperial Palace, tribute to Nippon’s war dead, singing of Kimigayo and three lusty Banzais.

SS, 1943.2.12: 1

映画館は改名され（「昭和劇場」, 「大和劇場」）, 日本映画の上映は多かったが、映画広告によれば、マレー語、タミル語、中国語でも、英語での上映が続いた：

AT THE GEKIJOS

KYO-EI Rebecca

SYOWA Honeymoon in Bali

SS, 1942.12.16: 2

IX 言語政策の談話計画

軍事占領の状況では、軍政が支配する新聞内容は厳しく制御されるのは言うまでもないが、軍事逆転

や不利なニュースを隠せなかった場合もあった¹⁰⁸⁾。同様に、言語政策関係のデイスコースでは、日本語学習の必要性を主張しながらも、日本語実用化の進歩の欠如を訴え、英語使用の不可避が認められることもあった。

日本語の威信を断言する際、美的価値と活力との二つの概念はよく結合された：

Nippon-Go "Is Vital and Beautiful"

ST, 1942.6.9: 6¹⁰⁹⁾

一方では、日本語学と日本人の精神力も頻繁に連想された：

Graduation Of First Batch Of Nippon-Go Students

...Addressing the graduates, Professor Kotaro Zimbou said "Three months have passed like a dream...But learning Nippon-Go, you immediately take a step nearer to understand Nippon Spirit, Nippon's Strength, Nippon's Beauty and Nippon's Great Spirit which at present seems to puzzle the people of the world.

SS, 1942.8.4: 4

Novel Approach To Nippon-Go Practised At Romu-Han Classes

... "The main idea of this class is not to teach my pupils Nippon-go only. As a rule I teach them Nippon expressions and grammar as a medium for instruction on Nippon, the Nippon-zin, Nippon Spirit and Nippon Culture.

S. Deal, SS, 1942.9.30: 4

上記言及した抽象的なデイスコースに伴い、日本語学習の実用上の利点も定期的に主張された。そのなか、日本語は大東亜共栄圏共通語としての拡大と地域の経済発展との関係、

Lingua Franca Of Malaya Nipponese Is The Logical Answer

One of the first considerations in the construction of mutual well-being and prosperity in Asia is the introduction of a common language. The suggestion therefore is that the language of Nippon become the lingua-franca of Malaya, while startling at first, becomes an obvious necessity with the inclusion of the country in the New Order of Asia for the Asians.

ST, 1942.2.28: 4

又は日本語と就職機会の関係が議論された：

Nippon Lessons Appreciated

The father of the Malay family remarked to me, "I think it is very useful for my children to learn a bit of Nipponese; it might assist them in later life to obtain good jobs."

ST, 1942.2.26: 4

学習を奨励するため、勉強の向上について、または職場での使用に関する個人の例が頻繁に掲載された：

¹⁰⁸⁾ Chan Kwee Sung (1976.9.05) The last days of Japanese occupation in Singapore. *The Straits Times*, p.10.

¹⁰⁹⁾ 昭南学園の神保学長（元日本大学の教授）

Syonan Man Proves Nippon-Go Can Be Easily Mastered

"I am no genius. I made up my mind to study the language and I am doing it."

Robin D'Castro *ST*, 1942.6.27: 4

Silent Reconstruction of Syonan-To

Syonan girls are working as typists, messengers and telephone operators in the office of the Asahi Newspaper, recently established here. They are working hard as soldiers on the battlefield. "Yuki Tiyan" who speaks good Nippon-Go, is seen in the foreground. She pleasantly informed me: "At night I attend a Nippon-Go school. I am happy to learn Nippon-Go!"

ST, 1942.5.30: 4

日本語は多民族間の共通語として市場でのやり取りにまで使用されたり、

And while on this subject of Nippon-go, it is gratifying to see that many people in Syonan, Chinese particularly, are already acquiring a knowledge of Nippon-go. This is particularly noticeable in the bazaars. In six months from now Nippon-go should begin to show appreciable signs of replacing English and Malay as the common medium of vocal intercourse between the people of Malaya and their Nippon-zin friends.

ST, 1942.5.30: 4

田舎でも勉強されたり、

"Backwoods Classroom" For Nippon-Go In Malaya

... the study of Nippon-go has already gone far beyond the elementary salutations of "Ohayo" and "Sayonara" during the past five months (...) children and relatives have taken to the study of Nippon-go under Nippon volunteers and soldiers who find time in their busy schedule to give lessons several times a week...

ST, 1942.7.1: 2

英語とマレー語を置き換え始めたりすることも報告された一方、

Syonan Making Big Strides In Nippon-Go

...Professor Jimbou feels that Nippon-go will rapidly become the lingua-franca of Malaya not only among the intelligentsia of the community, as was the case with English, but will be used by every section of the population.

ST, 1942.7.18: 4

英語の差し迫る消失も予測された：

"Backwoods Classroom" For Nippon-Go In Malaya

English is gradually becoming a forgotten language in Malaya, where the British had ruled for more than a century, the Asahi's Indonesian correspondent wrote in a special contribution to the widely-read Nippon newspaper.

ST, 1942.7.1: 2

MALAYSIA'S LINGUA FRANCA
"It Was English; It Is Nippon-Go

ST, 1942.9.20: Sunday Supplement

学校が再開された数ヶ月後、生徒が片仮名で小論文作成することができ、

Penang Pupils Already Able To Write Essays In Katakana

ST, 1942.9.27: 4

子供には日本軍人の名前がつけられ、

"Backwoods Classroom" For Nippon-Go In Malaya
...Also popular among local inhabitants is the giving of Nippon names to the new born babies. He cited that the latest name is "Terauti" of the Commander-in-Chief of the Nippon Forces in the Southern Regions, General Hisaiti Terauti.

ST, 1942.7.1: 2

様々な記事を読めばプロパガンダと事実のギャップが感じられるが、その疑いを無視しても、日本語が普及していると報告する一方、他の記事では日本語実用の進歩や日本の知識が欠けていることも訴えられた：

YOUR FUTURE DEPENDS UPON A KNOWLEDGE OF NIPPON-GO
Start To Learn Now!
...A very large proportion of the public have made no effort at all to commence upon study of Nippon-Go, and it is difficult to understand the reasons for this failure on their part...
...Today the British are no longer in power and Malaya is a part of the Great Nippon Empire. It is quite natural therefore that our government should wish that all such businesses hitherto carried on in English should in the future be carried out in Nippon-go.
AS THERE IS NOT THE SLIGHTEST POSSIBILITY OF ANY SORT OF ANY SORT OF "COME-BACK" ON THE PART OF THE BRITISH OR EVEN THE AMERICANS IN THIS PART OF THE WORLD, THERE IS NOT THE SLIGHTEST POSSIBLE CHANCE OF THE ENGLISH LANGUAGE BEING CONTINUED TO BE USED IN THE FUTURE.
Every lawyer, doctor, engineer, secretary, manager, supervisor, clerk, salesman, in short, every occupation or vocation which now uses the English language will have to use Nippon-go in the future.

ST, 1942.6.6: Saturday Supplement

Culture Essays Fell Short Of Expectations
...Most of the essays were dissertations on Nippon history and did not deal with the Culture of Nippon. The judges, however, have taken into consideration the fact that due to the past British influence, the people of Syonan did not have opportunities to get acquainted with the culture of modern Nippon.

ST, 1942.6.18: 4

新聞に掲載した片仮名クロスワードパズルの難易度も二年間にわってあまり変わらなかったことから、日本語能力の上達が遅かったことも読める。

英語の衰退を報告した一方、英語を利用して日本は以前に海外から知識を得たことを認め、

‘Tragedy of Scholars of English Literature’

...New scholars of English literature must “expend energies writing Nippon-go instead of English history,” Professor Honda declared, adding that, however, **English literature must not be cast off.** He pointed out that the Nippon Army and Navy, which are now commanding the admiration of the world, “**learned from foreign countries in the past for their achievements and mighty deeds of today.**”

英文学教授「Kensyo Honda」*ST*, 1942.9.2: 2

アメリカ人の編集長による文を引用し、アメリカ人は日本人が英語を理解している程日本語を知っていたらば、戦争が勃発しなかったことまで主張した：

American Praises Our Magnanimity

Dr Charles James Fox, for over 30 years editor and publisher of the North China Star¹¹⁰⁾, in a recent farewell radio broadcast from the Tientsin Broadcasting Station to readers of the North China Star, declared that if **Americans had known Nippon-go as thoroughly as the Nippon-zin read English and understood the United States, the present war between the two countries facing each other across the Pacific might have been avoided.**

ST, 1942.6.28: 2

上記のリーディングディスコースから、日本軍政は言語が重要な作戦と見なし、日本語の普及には制限があっても、言葉を精神力、知識と日常生活に連想しながら、英米の影響を取り除いて、新しい思想と文化を導入する目標があったことがわかる。このアプローチは戦前英帝国の慣行から完全に離れ、短期間にわたって急激な変革を目指したが、新聞談話の説得力には疑問がある。

X 調査結果から見る今後の研究狙い

英帝国主義は抽象的イデオロギーを控え、イギリスの財政権益を優先しながらも植民地人の経済安定に賭けた、と前提したら、占領地日本軍政は近い将来に経済発展や社会治安を確保せず、その代わり、新しい世界のビジョンを提供するしかできなかったといえる。こうした新しい世界には新しい言語が中心的な役割を果たした。行政高級レベルでは言語に思考や行動を変換する力があるとの信念が強かったようだが、言語政策を実施する担当者は、戦争中の経済危機に苛まれ、教材不足にも悩まされ、英語を含む多言語教育と行政を継続する以外に方法はなかった。

他言語を廃止せず、日本語の魅力及び実用的利点の宣伝には力を入れたらしいが、新聞報告では日本文化の美的価値が細かく描写されているのに、そのイメージと昭南人の日常生活とのギャップは道路、店や組織の改名に留まり、看板倒れだったとの批評を否定できないかもしれない。東南アジアでの日本語政策はディスコースの世界以外にもどの程度存在していたが、これからの研究目標である。

このパイロット・スタディでは主に占領最初の二年間に注目し、昭南の言語政策を主に軍政下の英字

110) 華北明星のアメリカ人

新聞を論じたが、今後は占領最後の二年間の新聞報告も分析した上、シンガポールとマラヤ半島の実情を比較する予定である。占領を経験した市民の個人談を聞く機会には時間の制限もあるので、シンガポールやマレーシアでは面接を行う予定もある。

参考文献

- Ahmad Mustapha Hassan (2007) *The Unmaking of Malaysia: an insider's reminiscences of UMNO, Razak and Mahathir*. Petaling Jaya, Selangor: SIRD.
- Akashi Yoji 明石陽至 (1970) Japanese policy toward the Malayan Chinese 1941-1945. *Journal of Southeast Asian Studies* vol.1.no.2, 61-89.
- (2008a) Introduction to Akashi and Yoshimura (eds.) *New perspectives on the Japanese Occupation in Malaya and Singapore, 1941-1945*, 1-20. Singapore: NUS Press.
- (2008b) Colonel Wataru: The Architect of the Malayan Military Administration, December 1941 – March 1943. In Akashi and Yoshimura (eds.) *New perspectives on the Japanese Occupation in Malaya and Singapore, 1941-1945*, 33-64. Singapore: NUS Press.
- Calvet, Louis-Jean (1987) *La guerre des langues et les politiques linguistiques*. Paris: Payot.
- Cooper, Robert L. (1989) *Language planning and social change*. Cambridge: CUP.
- Fairclough, Norman (1989) *Language and Power*. Harlow: Pearson Education.
- (2003) *Analysing discourse. Textual analysis for social research*. London: Routledge.
- Furnivall, J.S. (1948) *Colonial Policy and Practice: A Comparative Study of Burma and Netherlands India*. New York: New York University Press.
- Gunn, G. (1997) *Language, power and Ideology in Brunei Darussalam*. Ohio University Press.
- Haarmann, Harald (1990) Language Planning in the Light of a General Theory of Language: a Methodological Framework. *International Journal of Sociology of Language* 86 (1990), 103-126.
- Joshi, Priya (1998) Culture and consumption: Fiction, the reading public and the British novel in colonial India. *Book History* vol. 1, 196-220.
- Kathigasu, Sybil (1954/2006) *No dram of Mercy*. Kuala Lumpur: Prometheus.
- Kartini, Radeng Adjeng (1903/2005) *On Feminism and Nationalism. Kartini's letters to Stella Zeehandelaar, 1899-1903*. (Trans. Joost Coté). Melbourne: Monash Asia Institute.
- Koike Ikuo 小池生夫 (編集主幹) (2003) 応用言語学事典. 東京: 研究社.
- Kratoska, Paul H. (1998) *The Japanese Occupation of Malaya, 1941-1945*. St Leonards: Allen and Unwin.
- Kloss, Heinz (1969) *Research possibilities on group bilingualism: a report*. Québec: Université Laval, Centre International de recherches sur le bilinguisme.
- Kua Kia Soong (2011) *Patriots and Pretenders. The Malayan People's Independence Struggle*. Petaling Jaya, Selangor: SUARAM.
- Leibniz, Gottfried Wilhelm Freiherr von (1683/1917) *Ermahnung an die Deutschen. Von deutscher Sprachpflege*. Darmstadt: Wissenschaftliche Buchgesellschaft.
- Lo Bianco, Joseph (2004) Language Planning as Applied Linguistics. In A. Davies and C. Elder (eds.) *The Handbook of Applied Linguistics*, 738-763. London: Blackwell.
- Nencioni, Giovanni (1986) L'Accademia della Crusca e la lingua italiana. In Paolo Ramat, Hans-Josef Niederehe & Konrad Koerner (eds.) *The History of linguistics in Italy*, 107-120. Amsterdam: Benjamins.
- Neustupný, Jiří (1994) Problems of English contact discourse and language planning. In Thiru Kandiah, John Kwan-Terry (eds.) *English and Language Planning*. Singapore: Academic Press, 50-69.
- O'Connor, Peter (2010) *The English-language Press Networks of East Asia, 1918-1945*. Leiden: Brill.
- Oguma Eiji 小熊英 (1995) 単一民族神話の起源. 日本人の自画像の系譜 [The origins of the myth of a single race. Genealogy of Japanese self-images]. 東京: 新曜社.
- Pennycook, Alastair (1994) *The cultural politics of English as an international language*. Abingdon: Routledge.
- Powell, Richard (2002) Language planning and the British empire: comparing Pakistan, Malaysia and Kenya. *Current Issues in Language Planning* 3.3, 205-279.
- (2008a) *Motivations for language choice in Malaysian courtroom*. Kuala Lumpur: University of

Malaya Press.

- (2008b) Bilingual courtrooms: in the interests of justice? In John Gibbons and M.Teresa Turrell (eds.) *Dimensions of Forensic Linguistics*, 131-159. Amsterdam: John Benjamins.
- Ramcharan, Robin (2002) *Forging a Singapore Statehood 1965-1995: The contribution of Japan*. International Law in Japanese Perspective, vol. 9. Dordrecht: Kluwer Law International.
- Sakano Tōru 坂野徹 (2005) 帝国日本と人類学者一八八四～一九九二年 [Imperial Japan and Anthropologists 1884-1992]. 東京: 勁草書房
- Wilson Harold E. (1973) Educational policy and performance in Singapore, 1942-1945, *Occasional Paper No. 16*, Singapore: Institute of Southeast Asian Studies.
- Yasuda Toshiaki 安田敏明 (1997) 帝国日本の言語編制 [The linguistic formation of the Japanese empire.] 横浜: 世織書房.